

Illustrated by Ken Tanimoto

タイルとホコラとツーリズム

season 5 《山へ、川へ。》

2018年8月17日(金) - 9月2日(日) 11:00~19:00 * 月曜日はお休み / 金曜日は20:00まで

出品作家 | 谷本 研 (たにもと・けん) / 中村 裕太 (なかむら・ゆうた)

会場 | Gallery PARC (ギャラリー・パルク)

主催 | 「タイルとホコラとツーリズム」実行委員会 制作協力 | 麥生田兵吾 (写真撮影) 協力 | Gallery PARC / H A P S 東山 アーティスト・プレジメンツ・サービス



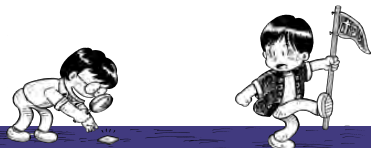
「season3 白川道中膝栗毛」会場風景
2016年、ギャラリー・パルク
撮影:表恒匡

Gallery PARC[グランマール ギャラリー・パルク]では、2018年8月17日(金)から9月2日(日)まで、谷本 研と中村裕太による「タイルとホコラとツーリズム season5《山へ、川へ。》」を開催いたします。

京都の街角に多く残る地蔵菩薩や大日如来などを奉ったホコラ(路傍祠)。その多くはコンクリートや石詰みの基礎の上に木造の社を持ちますが、そのしつらえにタイルを取り入れたものも見受けられるなど、その「生態」は多様でいて奥深く、様々な興味と想像を掻き立てます。その生態系に着目したリサーチを出発点に、谷本 研と中村裕太の二人の美術家が、ゆるやかなユニットとして2014年より取り組むプロジェクト「タイルとホコラとツーリズム」。「ホコラ三十三所巡礼案内所」をイメージした会場を起点に、市内の特徴的なホコラを巡った「ホコラ三十三所巡礼ツアー」などを開催した2014年の「タイルとホコラとツーリズム」以降、2015年の「season2《こちら地蔵本準備室》」では「地蔵本」の出版を目標に様々な資料・文献を集め、2016年の「season3《白川道中膝栗毛》」では書籍『北白川こども風土記』に導かれ、仔馬とともに白川街道を京都から大津へキャラヴァンしました。また「東アジア文化都市2017京都 —アジア回廊 現代美術展—」での発表となった2017年の「season4《一路漫風!》」では、対馬・沖縄・台湾・濟州島など、隣国との境界的な島々を巡りながら、ホコラを通じて各地の土着信仰を見つめてきました。こうして「タイル」と「ホコラ」と「ツーリズム」をきっかけにはじまる二人の旅は、いつもそれぞれ異なる注目・興味にたどり着いては、その「眼差し」を土産として持ち帰り、並べ・見せ合い・話し合い・思い出したりするものであったと言えるのではないのでしょうか。

5回目となる今回。二人は『山へ、川へ。』をテーマ(符牒)にそれぞれフィールドにくりだし、「石」への「眼差し」を持ち帰り、山と川に見立てたギャラリー・パルクに重ね合わせて、其処にツーリズムを出現させます。また、会期中には関連イベントとして、「season3《白川道中膝栗毛》」にて巡り合った京都・山中町の「重ね石」を再び訪れる路線バスツアー「川から山へ | 山中町・重ね石再訪」や、5年におよぶ活動を織り込んだ谷本筆による『参詣曼荼羅』の絵解き付きサンセットBBQ「屋上ホコラ盆」を開催します。

ギャラリー・パルクではお盆の恒例企画となった本展の会場には、5年におよぶこれまでの活動を織り込んだ谷本筆による『参詣曼荼羅』をはじめ、「石」にまつわる行為を手がかりとした中村による展示が開かれます。鑑賞者の皆様には、二人の美術家の旅の土産(あるいは土産話)から、彼らの足跡を辿る旅をお楽しみいただけるのではないのでしょうか。また、その眼差しを通じて「私たちの身近な暮らし中にある、興味深いアレコレ」を発見できる機会になるのではないのでしょうか。





「season4 一路漫風！」会場風景
2017年、京都芸術センター、「東アジア文化都市2017京都ーアジア回廊 現代美術展ー」
撮影:表恒匡

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上【info@galleryparc.com】迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 タイルとホコラとツーリズム season5 《山へ、川へ。》

出展作家 谷本 研(たにもと・けん) / 中村 裕太(なかむら・ゆうた)

会 期 2018年8月17日[金]ー9月2日[日] 11:00~19:00 月曜日休廊 / 金曜日のみ20:00まで

料金 無料 主催 「タイルとホコラとツーリズム」実行委員会 制作協力 麥生田兵吾(写真撮影) 協力 Gallery PARC / 東山 アーティスト・プレイズメント・サービス(HAPS)

イ ベ ント 路線バスツアー「川から山へ | 山中町・重ね石再訪」 予約不要・参加無料(但し往復バス代700円程度必要)

[日時] 8月25日(土) 13:00~17:00 *小雨決行・荒天中止

[持物] おやつ、飲み物、歩きやすい服装、雨具など

[行程] 【13:00】京阪祇園四条駅出入口4(四条川端北西角)集合 → 河原で石拾い(徒歩移動) → 「京阪三条」よりバスにて山中町に。重ね石にて願掛け、山中町散策後にバスにて「四条烏丸(烏丸通)」着 → 【17:00】ギャラリー・パルクにて展示見学後解散

サンセットBBQ「屋上ホコラ盆」 要予約・参加有料

[日時] 8月25日(土) 17:00~ *小雨決行・荒天中止

[定員] 20名(事前申込制/先着順) [料金] 4,300円(大丸KYOTOビアガーデンでの飲食代)

[申込] 【氏名 / 住所 / 電話番号】を明記の上、【info@galleryparc.com】までメールにてお申し込みください。

内 容 インスタレーション

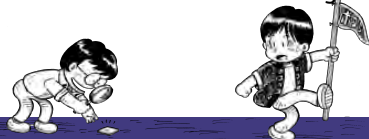
谷本 研、中村 裕太の美術家2名が、街で目にするホコラ(路傍祠)の生態系に着目し、2014年よりはじまった「タイルとホコラとツーリズム」。第5回となる本展では、石をテーマに、会場にそれぞれの眼差しを重ね合わせる。谷本筆による『参詣曼荼羅』をはじめ、「石」にまつわる行為を手がかりとした中村によるインスタレーションなどを展示予定。また会期中には2つのイベントを開催予定。

会 場 Gallery PARC[グランマブル ギャラリー・パルク] 〒604-8165 京都府 京都市 中京区 烏帽子屋町 502 2F~4F MAP

ア ク セ ス 地下鉄烏丸線「四条」駅・阪急京都線「烏丸」駅22・24番出口より徒歩7分。地下鉄烏丸線・地下鉄東西線「烏丸御池」駅より徒歩7分。室町通・六角通 北東角 室町通側入り口より2Fへ

問 い 合 わ せ Gallery PARC (正木・村田・岡田) 〒604-8165 京都府 京都市 中京区 烏帽子屋町 502 2F~4F

TEL= 075-231-0706 FAX= 075-231-0703 MAIL= info@galleryparc.com HP= www.galleryparc.com



【関連イベント】

路線バスツアー
「川から山へ | 山中町・重ね石再訪」

京都と滋賀を結ぶ白川街道(志賀越道、山中越とも)の県境には、大きな岩に磨崖仏が彫られた「重ね石」があります。かつては地元の方が地藏盆もおこなっていたようですが、今では人知れず旧道にひっそりとたたずんでいます。そんな重ね石に、河原で拾った石を運んで願掛けをします。

〔日時〕 8月25日(土) 13:00~17:00

*小雨決行・荒天中止

〔参加〕 予約不要・参加無料

*但し路線バス代として往復700円程度必要

〔持物〕 おやつ、飲み物、歩きやすい服装、雨具など

〔行程〕 【13:00】京阪祇園四条駅出入口4(四条川端北西角)集合 → 河原で石拾い(徒歩移動) → バス停「京阪三条」より【13:55】発「京阪バス56A比叡平行」乗車 → 【14:19】バス停「山中」着、重ね石にて願掛け → 山中町散策 → バス停「山中上」より【15:37】発「京都バス51 京都駅前」乗車 → 【16:20】バス停「四条烏丸(烏丸通)」着 → ギャラリー・パルクにて展示見学後解散

サンセットBBQ「屋上ホコラ盆」

京都市内の屋上ビアガーデンにて足洗い(打ち上げ)。「タイルとホコラとツーリズム」5年間の活動をコスモロジーとしてまとめた参詣曼荼羅の絵解き付き。

〔日時〕 8月25日(土) 17:00~

*ギャラリー・パルク集合

〔定員〕 20名(事前申込制/先着順)

〔料金〕 4,300円(大丸KYOTOビアガーデンでの飲食代)

〔申込〕 【氏名 / 住所 / 電話番号】を明記の上、【info@galleryparc.com】までメールにてお申し込みください。

【作家略歴】

谷本 研



1973年神戸生まれ。京都市立芸術大学大学院造形構想専攻修了。アートとその周縁に関わりながら企画活動を行う。主な展覧会に「当世物見遊山」(お宿吉水、1999)、「六甲ミーツ・アート芸術散歩2016」(六甲ケーブル山上駅、2016)など。デザインや漫画も手掛け、「プリコラージュ・

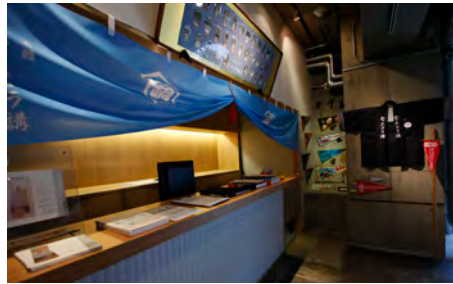
アート・ナウ 日常の冒険者たち」(2005 / 国立民族学博物館)や「Dan Graham: Beyond」(2009 / MOCA) 図録に漫画を執筆。観光ペナントの収集研究家として、著書に『Pennant Japan』(PARCO出版)がある。

中村裕太 | <http://nakamurayuta.jp/>



1983年東京生まれ。2011年京都精華大学芸術研究科博士後期課程修了。博士(芸術)。(民俗と建築にまつわる工芸)という視点から陶磁器、タイルなどの学術研究と作品制作を行なう。最近の展示に「第8回アジア・パシフィック・トリエンナーレ」(クイーンズランド・アートギャラリー、2015)、「第20回シドニー・ビエンナーレ」(キャレτζワークス、2016)、「あいちトリエンナーレ2016」(愛知県美術館、2016)など。

【これまでのTHT】



タイルとホコラとツーリズム

ギャラリー・パルク、2014

「ホコラ三十三所巡礼案内所」をイメージした会場では谷本《三十三所ミニホコラ》、中村《納涼盆棚観光》などを展示。関連イベントに「ホコラ三十三所巡礼ツアー」やトークセッション「信仰を観光する」を開催。



season2《こちら地藏本準備室》

ギャラリー・パルク、2015

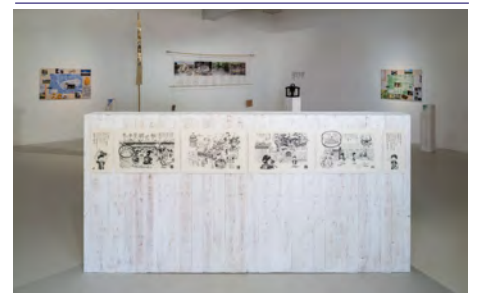
タイルとホコラにまつわる様々な資料や文献を集めた「ホコラテーク」が出現。イベントには「タイルとホコラ・ナイトツアー」やトークセッション「屋根裏談義」を開催。



season3《白川道中膝栗毛》

ギャラリー・パルク、2016

『北白川こども風土記』に導かれ、ポニーとともに白川街道を歩き、道中に出会う石仏に花を手向けるキャラヴァンの記録を展示。「こどもと郷土『北白川こども風土記』を読む2」や「山中町・重ね石を訪ねる路線バスツアー」を開催。



season4《一路漫風！》

京都芸術センター、2017、「東アジア文化都市2017京都 - アジア回廊 現代美術展 -」

東シナ海を取り囲む対馬・沖縄・台湾・濟州島にみられる土着信仰のホコラを巡るツアーの記録を展示。各地を訪れた4組の旅行者による「ツーリストリレートーク - 東シナ海のホコラを訪ねて -」を開催。

